



21

な ら さんじょうどお 奈良三条通り

奈良県奈良市三条通り

奈良市は、和銅3年(710年)に飛鳥の藤原京から平城京に都を遷したことに始まる。以後、平城京は70余年、首都として栄えた。その他、多くの貴重な史跡を残す、国際文化観光都市である。〔文化・観光〕平城京跡、東大寺、正倉院、若草山、国立博物館、若草山焼(1月15日)、鹿の角伐り(10月)、春日若宮おん祭(12月16~18日)

奈良市は一二八〇年前、我が国の首都「平城京」として開都され、天平文化の花を咲かせた街である。

三条通りは平城京の三条大路に位置し、古都奈良の旧市街地の中心をとる東西道路である。西はJR奈良駅、東は猿沢池、興福寺、奈良公園などに通じ、道の両側には商店街が建ちならび、国際文化観光都市として、また市民の日常生活道路として、人通りの多い道である。

このため交通量も多く、人と車で混雑し危険であったが、歩行者優先のコミュニケーション道路として整備が行われた。古都にふさわしい景観を維持するため、歩道は自然石張り平板ブロック、車道はインターロッキングブロックを敷設し、また適宜植栽もなされている。

完成された道は、心のふるさと奈良にふさわしい親しみと潤いのある三条通りとなった。

